

町民の声を議会に届け、町政のようすを町民に伝えます

住民のくらし・福祉を拡充し、安心してくらす町に

いま、国政では安倍内閣による消費税増税、社会福祉の見直し、TPP、原発推進など国民の願いと矛盾する政治が進められています。身近な地方行政としての城里町政の果たす役割はますます重要になっています。

町内の医療過疎問題、高齢者・年金生活者の生活支援、保育や子育てへの支援、農家や自営業者、商工業の振興など、町政への要望がたくさん寄せられています。日本共産党城里町支部は、みなさんの町政への要求実現に、ふじさく芙美子を次の町議選の予定候補者に決定し議席獲得に挑戦することを発表しました。40年看護師という仕事を通して、医療・介護・福祉の経験を持ち、いつも笑顔で人間大好きな芙美子さん。平和への思いも強く、福島出身ということでも原発廃炉への思いも強いものがあります。みなさんの声が届き、願いがかなう町政をつくるため、全力を尽くします。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



ふじさく芙美子

とりくみます

- 町民の声を町政に届けます。
- 議会のようすをお知らせします。
- 子供の内部被ばく検査を実施します。
- 高齢者の通院の利便性をはかります。
- 健康診査の拡充に努めます。
- 東海第二原発の廃炉を求めます

東海第二原発の廃炉を求めます

城里町が20km圏内に入る東海第二原発は、老朽化していると同時に、東日本大震災時にも、あと80cm津波が高ければ、あわやの事態となりました。町は防災対策を検討中ですが、避難する場所も、その方法もない原発は廃炉にすべきです。子や孫の健やかな成長のためにも、処理できない核のゴミを出す原発の廃炉を求めます。

高齢者が安心してくらす町に

城北病院の水戸市への移転で、町内の総合病院はなくなり、夜間緊急医療や救急医療、高齢者の通院などに大変な負担と不安が高まっています。実施されている福祉バスの運行なども、利用者の要望に応える、きめ細かい対応が求められています。

地震だよー



常北地域に防災無線を

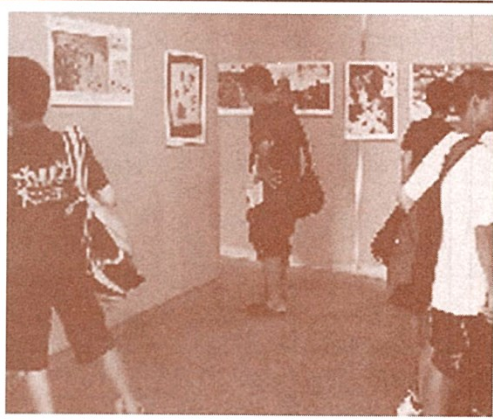
七会、桂地区にはすでに戸別受信の防災無線が設置されています。国は防災無線、防災ラジオの設置について100%の起債と事業費の70%を交付税措置されるとしています。常北地域を含め全町に早期の設置を。

地震よ
早く避難して!



平和パネル展

8月9日～11日、
城里町コミュニティセンターで行われた「平和パネル展」を訪れ、熱心に展示されたパネルを見る子供たち。



水道料金の引き下げを求めます

城里町の水道料金は、20㎡で3,990円で、水戸市の2,278円の1.75倍と高く、転入してきた人が驚いています。引き下げを求めます。

新しろさと

2013年11・12月号外：日本共産党の見解を紹介します。ご意見・ご要望をお知らせください
発行責任者：日本共産党城里後援会 森島友里 城里町那珂西1546-3 TEL029-288-7648

日本共産党

町民の願いをしっかりと届けます

だれもが幸福になれる町に

看護師40年の経験を町政にいかす

母の手ひとつ

1952年（昭和27年）福島県富岡町の農家に生まれた芙美子さんは3歳のときに父を亡くし、きょうだい3人とともに母の手ひとつで育てられました。父の死が戦争によるマラリアの罹患によるものだったことを知り、戦争はいやだとの認識が芽生えました。いくら働いても貧しさからのがれられません。そういうとき、母のひたむきな明るさが救いでした。

人間大好き 看護師へ

母の姿から女性でも働くことの大切さを学んだ芙美子さんは、人間と接する仕事をしたたいと働きながら准看護学校に通いました。その後、さらに勉強したいと、働きながら看護学校に通うため水戸に移りました。

看護師をまつとう

看護師40年、水戸の総合病院で24年3交代の勤務を続けながら、子育てもしました。どんなときにも患者さん第一に考える芙美子さんのもとに患者さんや家族、同僚からもたくさんのお花や手紙をいただきました。それはいまも芙美子さんの宝物です。2人の子も独立し、いまは3人の孫に会うのが何よりの楽しみです。



ふじさく芙美子プロフィール

○福島県立富岡高校卒 ○茨城県土浦医師会付属准看護学院卒 ○茨城県立看護専門学校卒 ○水戸協同病院勤務 ○水戸済生会総合病院看護部勤務 ○石島整形外科病院勤務 ○趣味：ハイキング・映画鑑賞 ○家族：夫、



藤咲芙美子さんを推薦します

茨城県視覚障害者の生活と権利を守る会事務局長

元教師

私は、一昨年、町議会へ東海第二原発の廃炉を求める意見書採択に関する陳情書を提出しました。残念ながら当時は採択されませんでした。藤咲さんの福島の実家は今も高い放射線濃度で住むことができず、親戚の方々は現在もぼろぼろの生活を強いられています。藤咲さんは大震災の前から脱原発や町内の施設で原爆写真展を開催するなど、平和を願う活動をしています。今後も町民のくらし・福祉向上のため活躍を期待して推薦します。

浅見 清

決意あらたに

いま消費税増税、介護保険、秘密保護法、TPPなど、くらしや平和が根本からおびやかされる動きが急です。人が好きな芙美子さんは、だれもが幸福になって当たり前なのに、この動きは見過ごせないと思っています。町から共産党の議員がいなくなってしまう。町議会がわからなくなりました。オール与党で、町民の視線から町政を監視する議員がいません。これを何とかしようとしてふじさく芙美子さんは決意を新たにしていくと決まっています。

原発のこわさ身にしみて

いまも肉親が原発事故による避難生活を余儀なくされています。疲弊・不安は日ごとに深刻です。この町であるようなことがあってはならないと、女性団体のメンバーとして東海第二原発の廃炉を求める請願を議会に提出、全会一致で採択されました。

平和の願い 共産党へ

水戸の看護学校に入った芙美子さんは、父の死や母の苦労の根源に戦争があつたことを知り、戦前からのちがけで戦争反対を主張してきた日本共産党に入党しました。